

平成 25 年度 高円宮賜杯第 33 回全日本学童軟式野球大会山形地区予選会要項(概要版)

1. チーム登録について

- ①一チーム選手 20 名以内(背番号 0~27)、監督 1 名(背番号 30)
コーチ 2 名以内(背番号 28、29)まで登録できます。主将は 10 とする
- ②ベンチに入れる人員は①のほかに、チーム責任者 1 名、(成人に限る)
マネージャー 1 名、スコアラー 1 名までです。
- ③チーム登録は学校単位、選抜チーム等任意の形態でも可能です。
- ④平成 25 年度の登録締切は、平成 25 年 5 月 24 日(金)までとする。
- ⑤ユニホーム等は同一意匠とする。
- ⑥全国大会に出場する場合はチームのユニホームと左袖に県名を入れる。
- ⑦登録申し込み先はメールで下記とする。
○送り先アドレス 佐藤 喜芳 kiyo@y-ctc.jp
山形地区野球連盟事務局長 佐藤喜芳(090-3755-2021)

2. 登録料、大会参加料について

- ①登録料はなし。
- ②山形地区大会の参加料は 1 チーム 3,000 円とする。

3. 山形地区及び県予選会の日程について

- ①山形地区の予選会は 6 月 8~9 日に流通センター野球場で開催する。
- ②抽選会及び監督、主将会議は別紙の通りとする。
- ③県大会は 6 月 29~30 日に山形地区で開催されます。(山形 2 チーム参加)
- ④県大会の組み合わせは既に県野球連盟総会で、決定しております。
(抽選会当日お知らせいたします)

4. 東北大会及び全国大会について

- ①県予選会優勝チームは 8 月 6~12 日東京都(神宮球場)で開催される全国大会に出場する権利を得る。
- ②県予選会準優勝チームは 7 月 26~30 日和歌山県で開催される第 18 回高野山旗全国学童軟式野球大会に出場する権利を得る。
- ③県予選会第 3 位チームは 8 月 17~18 日秋田県で開催される第 17 回東北学童軟式野球大会に出場する権利を得る。

5. 大会規定等

- ①全日本軟式野球連盟規定等を準拠して実施される。
- ②山形地区大会は全日本軟式野球連盟規定を適用して実施されるが、山形地区の特別規定等もあわせて実施する。

6. その他

- ①全日本軟式野球連盟規定等に違反した場合、地区に対する罰則があるので熟慮のうえチーム登録をしてください。
- ②山形地区の予選会は、8 チームのトーナメントとし、出場チームについては各地区のスポーツ少年団事務局に委ねる。
- ③雨天の場合でも、現場においては試合可能・不可能の判断をしますので必ず球場に集合お願いいたします。

学童軟式野球大会要項（2013）

山形地区野球連盟

1. 出場資格

- (1) 全日本軟式野球連盟規程第6条第3項(2)に規定するクラブチームでなければならない。(スポーツ少年団との二重登録は認められる)
- (2) 会員登録は同規程第10条によるものとし、第6項(2)のとおり硬式ボール及びK-Ballを使用している団体に登録又は大会に参加している選手は出場できない。ただし団体の登録又は大会の参加を抹消した場合は登録することが出来る。

2. 試合方法

- (1) トーナメント方式とし、全試合7回戦または1時間30分以内とする。(1時間30分越えたら次のイニングには入らない)
- (2) 得点差によるコールドゲームは、5回以降又は4回半終了7点差とする。
- (3) 7回を終了しまたは3回を過ぎて1時間30分を経過して勝敗のつかない場合、最終選手9名による抽選により勝敗をつける。
- (4) 学童の部の投球制限を適用する。(投手の投球制限については、健康維持を考慮し1日7イニングまでとする。尚学童部3年生以下にあつては、1日5イニングまでとする。投球イニングに端数が生じたところは3分の1回(アウト1つ)未満でも1イニング投球したものとして数える。

3. ベンチに入れる人数

- (1) ベンチに入れる人員は、監督1名、コーチ2名以内、選手10名以上20名以内及びチーム責任者(引率責任者)、マネージャー、スコアラー各1名とする。監督、コーチ、チーム責任者は成人とする。
- (2) 背番号は監督30番、コーチ29、28番、主将10番、選手は0番から27番。

4. オーダー交換

- (1) 各チームは球場到着時に本部に報告し所定のオーダー表を受取、第1試合は試合開始予定時間30分前、第2試合以降は前試合の4回終了時、監督及び主将立会いのもと、本部席で行う。
- (2) テーピング等の必要な選手も同行し審判員の確認を受けること。

5. その他

- (1) 試合中、打者、走者、次打者、ベースコーチは全軟連公認の耳つきヘルメット、捕手はマスク、ヘルメット、プロテクター、レガースを着用すること。
- (2) ユニフォーム、帽子、ストッキング、スパイク等については、全員同色、同意匠のものでなければならない。(チーム責任者も同一帽子を着用すること)
- (3) 捕手のヘルメットはマスクと一体となっているものの使用禁止。また金属・ハイコンバットはJSBB公認のものを使用すること。
- (4) 試合中監督に限りグラウンドにて指示することが出来る。
- (5) 試合中の禁止事項については競技者必携(2012)競技運営に関する連盟取り決め事項及び競技に関する連盟特別規則に規定されているとおり遵守すること。
- (6) 試合のスピード化に努めること。
- (7) タイムの回数は7イニングスに3度以内とする。
- (8) 抗議の出来るものは監督と当該プレーヤー。ルールの適用間違いについてのみ。
- (9) 地区予選会ではシートノックは行わないので注意すること。

フェールキャッチ義務
正捕手
予備捕手

★大会運営補助員のお願い

両チームからボールボーイ(2名で椅子を準備願います)の協力をお願いいたします。

高円宮賜杯第33回 全日本学童軟式野球大会山形地区予選

会場：流通センター野球場

6/9
(日)

13:00

③

9:00

①

10:45

②

6/8
(土)

9:00

①

10:45

②

12:30

③

14:15

④

1 中山ジュニア野球クラブ

2 寒南ガッツ

3 山三小こまくまがとバローズ

4 大郷ビッグドリームズ

5 ほなみ野球部

6 天童南部小ソトルファイターズ

7 ウイングス野球クラブ

8 寒小スラッガース

2013年度 野球規則改正及び規則適用上の解釈について

2013年度 全軟連競技者必携の改正について

2013年度 全軟連全国審判技術研修会伝達事項 他

平成25年3月24日

山形地区野球連盟審判部

- ・ヒット、バイ、ピッチの判定にバラツキが見える。打者席は基本ヒット、バイ、ピッチになるが、全てではない。避けられないのか、避けないのか、しっかり見極めること。
- ・球審が自打球処理で見えない時のサインを決めておくのも良い。
- ・事例として、「2死走者2塁、3B2S、次の投球時（4ボール）に三盗しアウトとなった。次の攻撃の時に4ボールになったはずの打者が再度打席に立った。」ということがあった。このような時は、三盗しアウトになった時点で本部（記録）へ次打者が誰なのか明示してトラブルにならないよう努めること。
- ・試合時間が長い試合が多くなってきている。不要なところを無くし、時間短縮に努めること。

◆実技内容における伝達事項について

①ジェスチャーコールの基本練習

GO/STOP/CALLの練習（そのままの位置で）

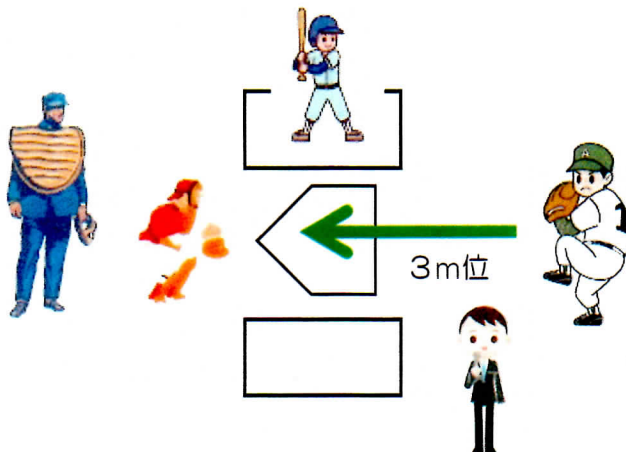
- ・両足を肩幅より広げ、ハンス・オン・ニーズの反復練習。両手を上（タイムを取る時のイメージ）に挙げ、そこから膝の上または大腿の位置に持ってきたら、しっかりとカメラの三脚を作るイメージで目の前のプレーに対してしっかり固定する。しっかりした形が作れない人は、目も固定しておらずプレーを待ち構えることが出来ない。こう言ったことをしっかりイメージするよう指導があった。

【審判メカニクス第4版、P30塁審の構え方参照】

- ・アウト → 右手で前の壁をたたくイメージ、左手は軽く握り自然にベルト付近に来るとジェスチャーもしっかりし、納得のゼスチャーに見える。
(右手は前の人と握手をするような感じで手を前に出しながら挙げて行く。)
- ・セーフ → 両手を前の人と握手（アウトと同じ）するように挙げ、そこから水平に左右へ開く。この時、必ず水平になっているか確認し、自然の反動で閉じる。
全軟では、できるだけセーフ（両手を開いたまま）を残した形を作るよう指導があった。（直ぐに両手を閉じない）

②球審の動作練習（ソフトスによるトラッキング練習）

4人一組で、球審・捕手・投手・指示に分かれてソフトスでトラッキングの練習を行う。



左図のような配置をし、進行役が球審のトラッキングや構え等について確認する。

★捕手の頭頂部より自分の顎が下がっていないか、ベース全体が見えているか、

(例：1塁側ベンチの投手が交代で三塁手になる場合は、ファウルラインを当然ながら越えて行くはずである。)

④本文8. 01 (a)【注1】について【巻頭(13)参照】

アマチュア野球では、投手の軸足及び自由な足に関し、次のとおりとする。

- (1) 投手は、打者に面して立ち、その軸足は投手板に触れて置き、他の足の置き場所には制限がない。ただし、他の足を投手板から離して置くときは、足全体を投手板の前縁の延長線より前に置くことはできない。
- (2) 投手が(1)のように足を置いてボールを両手で身体の前方に保持すれば、ウィンドアップポジションをとったものとみなされる。

⑤危険防止(ラフプレイ禁止)ルールの導入について

フェアプレイの精神に則り、プレーヤーの安全を確保するため、攻撃側のプレーヤーが野手の落球を誘おうとして、あるいは触塁しようとして、意図的に野手に体当たりあるいは乱暴に接触することを禁止するものである。

【アマチュア内規⑦参照】

★2013年度全軟連競技者必携の改正について

- ・競技者必携本自体は2年に1度発行されているので、改正箇所のみ添付。
全て規則改正及び審判メカニクスの改正による。

◆その他、全軟連全国審判技術研修会での伝達事項について

- ・今年から危険防止のためファールカップ(捕手と球審)は全て着用すること。(義務付け)
- ・ベースコーチのウィンドブレーカー着用 → 認める(規則1.11参照)
- ・ネックウォーマーの着用 → 認める(但し、色は黒色か紺色のみ) → 一旦保留項目へ
- ・サングラスの着用 → 従来も認めてはいたが、必ず本部からの許可を得て着用させること。(ミラータイプは不許可)
- ・用具及び装具の点検を必ずやること。不良品があったら本部で預かってもらうこと。
- ・シートノック時にコーチが補助員としてグラウンドに出る → 認める
- ・(学童と少年において、ブルペン捕手をしているコーチがいるのでこれは認められない。)
→注意喚起)
- ・審判のミスで協議せざるを得なくなった時は、チームワークとコミュニケーションで納得のいくよう努めること。クルー内で責任審判員を立てるのも一つの方法。

山形地区野球連盟

高円宮賜杯第33回全日本学童軟式野球大会

山形地区予選会組合せ抽選会

2013.5.25

1. 開会の挨拶
2. 会長挨拶
3. 役員紹介
4. 協議運営上の注意と改正規則の説明（山形地区野球連盟審判部長）
5. 質 疑
6. 抽 選

オープン抽選とする

受付番号の若い順に予備抽選。予備抽選番号の若い順に本抽選
（寒河江地区の2チームはブロック別の抽選とするか協議必要）

※ 参考資料

- ・ 学童軟式野球大会要項（2013）
- ・ 大会組合せ表
- ・ 2013年度 野球規則改正

◆ 大会参加チーム（順不同）

- 山三小こまくさガンパローズ
- ほなみ野球部
- 大郷ビッグドリームズ
- ウィングス野球クラブ
- 天童南部小リトルファイターズ
- 中山ジュニア野球クラブ
- 寒南ガッツ
- 寒小スラッカーズ

以上8チーム（チーム名はスポ少事務局より）